源　流

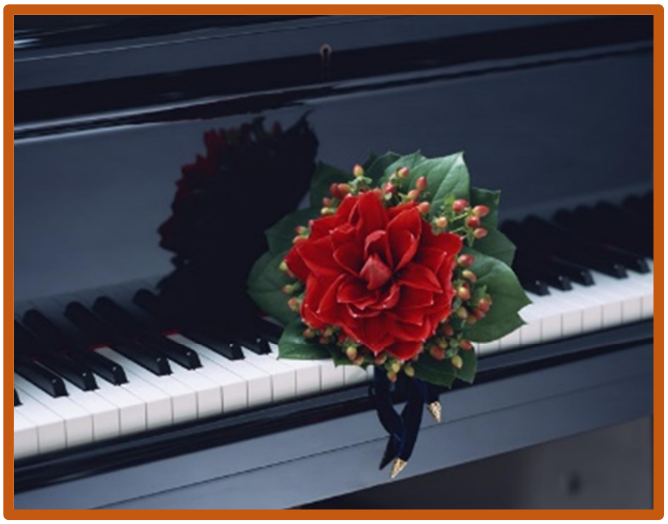
第２４９号　　教育長　　儘田　文雄

次期学習指導要領に向けて

出典：「令和７年５月２２日　中央教育審議会　教育課程企画特別部会資料１－１」

「学習の基盤となる資質・能力」の今後の整理イメージ

「学習の基盤となる資質・能力」は、各教科等の日々の学習や生涯にわたる学びを基盤として支える資質・能力です。現在は「言語能力」「情報活用能力」「問題発見・解決能力」の三つが位置付けられています。しかしながら、次の二つの課題が指摘されています。



① **「情報活用能力」について**

現代社会において情報技術を介さない情報活用に係る能力の育成は具体的なイメージがもちにくい。また、言語能力との重複もある。

② **「問題発見・解決能力」について**

情報活用能力・言語能力との重複が見られるほか、資質・能力の具体や育成のための実践が必ずしも明らかでなく、具体的な実践に結び付きにくい。

＜今後の整理イメージ＞

❶　今般の情報教育の充実を契機に、「学習の基盤となる資質・能力」としては**「情報技術の活用」に絞って示す**。「情報の活用」については、各教科等の特質に応じて指導する。

❷　**「学習の基盤となる資質・能力」は、「言語能力」と「情報活用能力」の二つに絞る。**「問題発見・解決能力」は、総合的な学習の時間の目標や発達段階に応じた示し方を検討するとともに、各教科等の学習の過程で重視されることを示す。

学問のしかた

実業家　渋沢栄一

学問はあたかも滋養物の如（ごと）し。よく咀嚼（そしゃく）して、よく消化せぬと、かえってその身を害（そこな）うに至るものである。

出典：「渋沢栄一　一日一言　人間力を高める言葉」（致知出版社）

※　たゆまず、あせらず、おこたらず。一歩一歩、着実に。